



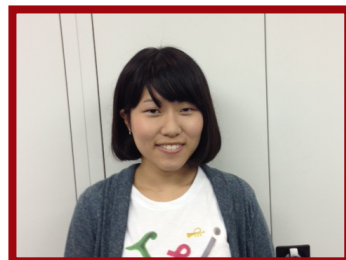
突撃!! 新人レポート



入社して、初めての夏を経験中の新人さんたちに
今まで経験してきた中で安全について話して頂きました。
まだまだ勉強中ではありますが、怪我なく元気に乗り切ってください。

●國米 沙希 所属：東京デザイン課

入社して4ヶ月が経ち、まだまだ不慣れなことも多いですが、充実した毎日を送らせて頂いております。この4ヶ月、様々な規模の現場を経験させて頂き、安全に対しての意識がどんどん高まっています。実際に怒られてはとすることの多かった、動線の確保は危険を防ぐ第一歩であると感じます。また、声を掛け合う事、簡単な事のように思えて、実際はとても難しいことを実感しました。自分だけでなく、周りの安全も考え行動出来るよう、今後も頑張っていきたいと思います。



●大島 翔太 所属：東京デザイン課

様々な現場に行かせてもらい、一つ一つの現場で色々な事を学ばせて頂いています。現場が始まると何をしたらいいのか分からず、あたふたしてしまう事が多々ありますが、これからもっと色々な現場を経験して自分が今すべき事を考えて行動出来るようにしていきたいです。安全面ではもっと周りの状況をよく把握して行動出来るようにしていきたいです。



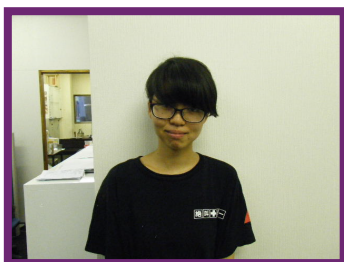
●望田 千紘 所属：東京製作部設計企画課

入社から4ヶ月が経ち、現場に出させて頂く機会も増えました。初めて経験することが多くあり、安全面に関してもスタッフの方々から注意すべき点を現場での作業を通して学ばせて頂いています。また製作の作業も少し経験させて頂いています。不慣れな分、自分の作業に集中してしまいがちですが、工具の扱いや物の移動一つにしても、大勢で作業を行う中で注意すべき点が多くあるのだと感じています。事故を未然に防ぐために広く周りを見るように心がけ、今後も頑張っていきたいと思います。



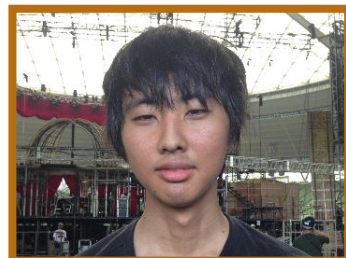
●村上 友季子 所属：東京製作部設計企画課

安全対策で、非常に印象に残っているのは、現場でみた鉄砲階段のツマ部分に小さな穴が開いていたことです。この鉄砲階段は非常に重く、かつ高い受けの台の上に仕込むものでした。小さな穴があることでバランスのとりやすい位置に手を入れることができ、落下事故のリスクが減らせるというものです。製作の一工夫で生まれる安全があるのだと実感しました。現場で、工場で、体を動かして潜んでいる危険を感じていくことが、危険予知訓練となっています。今後図面を引いていく上で、これらを念頭におき、より安全であることを価値とする「日本ステージ品質」の作り手になりたいと考えています。



●島津 祐亮 所属：東京技術部資材管理課

リギングではメンバーが少ないので、安全には特に気を使っています。作業中は気を抜かないというのは大前提で「声だし」と「報・連・相」を徹底しています。例として「声だし」についてひとつ、積み降ろしで荷物を受け渡す際は「もらいます」「まかせます」「ちょっとストップ」あたりまえだけど大事だと思います。



日本ステージ創立 50 周年記念

日本ステージでは創立 50 周年を記念して、社員海外研修旅行を行っています。
現在までドイツ、オランダ、イタリア、アメリカへ赴き、現地のコンサート事情やミュージカル等の視察を実施しています。今後も7班、8班の研修が予定されています。社員全員が各地で感じた事、考えた事を今後の日本ステージで活かしていく事を期待しています。